

第3回 静岡市静岡地区L R T導入検討協議会

- 1 日 時 平成25年5月7日(火) 14時00分～16時00分
- 2 場 所 静岡庁舎 本館3階 第3委員会室
- 3 出席者 (委員) 久保田会長、瀧委員、坪井委員、山本委員、櫻井委員、松本委員、村松委員、北村委員、丹羽委員(代理:南城)、仲田委員、勝山委員(代理:牧野)
(関係者) 諸田委員、村松委員、鈴木委員(代理:宮原)
(事務局) 松浦都市計画部長、小林交通政策担当部長、大滝参与兼交通政策課長、吉川統括副主幹、竹下主査、鏡味主任技師
- 欠席者 (関係者) 田村委員
- 5 議 題 L R T導入に向けた施策の検討
- 6 会議内容
(1) 開会
(2) 開会あいさつ
(3) 議題説明
(4) 意見交換
(5) 報告事項
(6) 閉会

○議題説明

(1) L R T導入に向けた施策の検討について

以下の事項を事務局より説明

- ・第2回協議会の指摘事項と対応(案)
- ・「静岡型コンパクトシティ」の実現に向けた公共交通の整備及びまちづくりの推進
- ・静岡市の目指す公共交通ネットワーク
- ・各都心における導入の目的
- ・L R Tシステムの選定理由
- ・各ルートの概要について
- ・目指すまちづくり及び課題解決に向けた施策(案)
- ・市民・経済界・交通事業者・市が一体となった連携協力
- ・ルートの施策イメージ

○意見交換

<ルートについて>

- ・七間町をトランジットモール化してL R Tを通してほしい。
- ・静岡鉄道の駅が近くにない地域にこそ導入すべき。
- ・駿河区のルートはいいが、葵区は郊外からまちにくるルートを考えるべき。
- ・ルートは都心部の多くの施策を踏まえて、大きな視点で見るべきである。
- ・いかにまち中に人を呼び込んでくるかが大事で、まち中は歩いて回遊すればよい。
- ・GWの日本平周辺の、渋滞がひどく、日本平の様な観光地にこそL R Tを引いて欲しい。

<L R Tの必要性について>

- ・単なる移動手段ではなく、L R Tは人と人との賑わいを生むもの。

<まちづくりについて>

- ・交通ゾーンシステムなど、住みよいまちにすることが大事。
- ・中山間地や海辺といった地域それぞれが便利な様にすべきである。L R Tの検討でも、静岡全体をどの様にしたいか示していくことが必要。

<導入に向けた施策について>

- ・バスとの連携が大事。いかに安価で楽に来られるか。I Cカードが普及しているので、I Cカードによる施策が有効。
- ・車をいかに街中に来させないかについては、まちの外に駐車場を置いて車を来させない様な施策が考えられる。

<導入について>

- ・静岡は平坦なところが多いので、車と公共交通が一体化出来るのではないか
- ・自動車で来る人がL R Tの方が便利であると思う様なシステムにしなくてはならず、市民の合意を得て導入すべきもの。

<静岡鉄道の意見>

- ・輸送力の低下から静鉄のL R T化は考えておらず、L R T車両にするよりも、輸送力を増強させることを考えている。
- ・導入の際には安全性の確保が大事である。鉄道上でも、非常に気を遣っている。道路上では、それ以上に運転士の負担がかかるのではと考えている。